

# 令和7年度 東海東小学校 学校評価に係る評価書

評価の基準（4段階） 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

項目	観 点	自己 評価	観点 評価	総合 評価	運営委員コメント
進 ん で 学 ば う と す る 意 欲	①個別最適化と協働の学びを深める授業づくり (アウトプット:ひなたの学び)	3	3.0	3.1	○学力の保障として、学年に応じて個人差はあるが基礎基本（読み・書き・計算）の定着が必要であると思う。特にタブレットの活用は効果的である。 ○少人数指導や専科指導、6年生の教科担任制導入はユニークで有効的である。 ●遅刻や不登校の児童の学力の底上げに取り組んでいただきたい。学校と家庭との連携が必要だが、それが一番難しい問題だろう。 ●読書活動はもっと充実させるべきと思う。国語力が上がれば、意欲の向上につながると思う。
	②ICT教育の推進 (学習意欲の喚起と個に応じた指導の展開：ロイロノート等の活用)	3	3.0		
	③読書活動の充実（知識の習得、感性や想像力の醸成と読む力の形成）	3	2.9		
	④主題研究の充実と第6学年の教科担任制、外国語における専科指導、一部教科担任制の推進	3	3.5		
思 い や り の 心	①「花いっぱい活動」の推進（責任感と思いやり、伝統の継承）	2	3.0	3.1	○児童の困り感の解消と他者理解、関係機関との連携が図られている。これからも子ども達の持ち味を個性と認め、根気強く関わっていただきたい。 ●思いやりの心を育むには、体験活動を通じた人と人とのふれあいが不可欠だと思う。体験活動の一層の充実を期待している。
	②ポジティブな行動の支援 (児童の発達を支える働きかけをすべての児童を対象に)	3	3.3		
	③体験活動の充実（自信と思いやり、感謝の気持ち）	2	3.1		
が ん ば り ぬ く 心 と 体	①体育科授業等での基礎体力づくり (運動量の確保・体力の二極化傾向への対応)	3	3.1	2.9	○運動会で見せた子どもたちの元気よさに感動した。何事にも目標をもって最後までやり抜く東海東っ子になることを願う。 ●基礎体力作りもメディアコントロールも学校だけでは限界がある。保護者への働きかけが、もっと必要だと思う。
	②「あきらめずに（耐）続ける（やり抜く）」力と心の育成	3	2.6		
	③メディアコントロール推進による生活リズムづくり	2	3.0		
地 域 と と も に あ る 学 校	①コミュニティ・スクールの充実（情報発信と熟議、協働の推進）	2	3.3	3.3	○学校便りやホームページは、分かりやすく、学校での行事や活動の様子が把握でき、ありがたい。 ○熟議ができてよかった。地域防災訓練などの話も出たが、無理がないものから実現していくとよい。安全度も高まると思う。 ●しゃべり場の話し合いは、もっとたくさんの人たちに参加してほしいと思う。
	②キャリア教育の充実（魅力的な地域の大人との出会い～なぜ学ぶのか、何のために働くのか）	3	3.8		
	③地域との連携による子どもの安全の推進（水・人・車）	3	2.8		

総合評価 学校運営協議会委員より

○学校運営や働き方改革を推進していきながら学力向上、登校を渋る児童や指導を要する子ども達への対応等、校長先生を中心に先生方が一丸となって頑張っておられることに感謝している。

○来校した際には、子どもたちが楽しく元気に学習に取り組んでいる姿が見られた。読書推進や生活リズムづくりなど、昨年からの課題も工夫されて取り組んでいた。学校外での安全は改善が必要だと思う。何度か危ない場面を見かけた。一人一人が考えて行動できることが大切だと思うが、地域住民も子どもに声掛けができない現状もあるので、定期的な交流があるとよいと思う。

○先生方が、普段、児童一人一人に目配りや気配りをされ、子どもたちが安心して学校生活を送っているように感じる。それが明るく、活気がある東海東小学校の土台になっていると思う。先生方の日頃の努力に敬意を表す。

○学校運営協議会が数回開催されるなかで、授業参観の様子で、先生方の指導や子ども達の授業に臨む前向きな姿勢が伺われた。

○学校参観で子どもを見た感じでは、元気な子どもたちだと感じた。その元気が、授業面で表れたらよいと思う。

○先生たちがとても明るく元気で、その姿が学校の雰囲気をととてもよくしているのではと思う。元気いっぱい明るい学校づくりをこれからもして欲しい。

○早い時間から先生方も出てこられての準備等、よくやられていると思う。

○限られた人員と限られた時間での学校経営で、望ましい結果を出すのは限界だと思う。PTAの役割、コミュニティ・スクールの充実が大きく求められていると感じる。

評価を受けての今後の改善方法

○子どもの安全の推進については、地域や保護者を巻き込んだ安全推進計画を進め、将来的には地域と学校との合同避難訓練を実施できるようにしていきたい。

○メディアコントロールができず、昼夜逆転になっている不登校傾向の児童もいる。今後も積極的にメディアコントロールにつながる取組を行っていきたい。特に保護者に危機感をもってもらい、学校と連携したメディアコントロールの取組を行ってきたい。

○コミュニティスクールについては、今年度、区長、公民館長、学校運営協議会委員、保護者、教職員の5者が集まった「熟議」が実施できた。次年度は、参加者をさらに募り、地域とともにある学校を目指していきたい。